

(別紙3 様式第10号)

# 活 動 計 画 書

令和〇年〇月〇日策定

〇年〇月〇日改定

(実施途中で計画変更した場合は改定日をいれて変更申請書と共に再提出)

〇〇の森保全の会

## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

### 1. 組織名 **活動組織の名称を記載**

〇〇の森保全の会

### 2. 所在地

(活動組織の所在地) **活動組織の所在地・連絡先を記載。Web ページ等はある場合に記載。**

住所：〒 京都府〇〇町〇〇 1-2-1

TEL：〇〇〇-△△△-□□□□

FAX：〇〇〇-△△△-□□□□

メールアドレス：〇〇〇@〇〇〇〇

### 3. 地区の概要、取組の背景等

〇〇市〇〇地区は・・・により、集落で先祖代々守り続けている〇〇の森が荒廃してきた。このため、地域住民（〇人）と NPO 法人〇が「〇〇の森保全の会」を設立し、〇〇の森を整備し、間伐体験や炭焼き体験を開催し、地域住民と都市住民の絆の森とし、地域の活性化を進める。

### 4. 取組概要

〇地区にある〇を中心とした広葉樹林について〇〇の森保全の会メンバーによる雑草木の刈払い、集積、処理場までの運搬を実施。整備後に〇を植林、遊歩道の整備（一部急峻フィールドについては作業委託を実施。0.5ha）。また、一部のフィールドにおける孟宗竹の除去を実施し、チップパーによる処理後遊歩道へ敷設する。対象林地内に炭焼き小屋を整備し、フィールド内の 0.5ha から炭及び薪ストーブ用の原木の間伐を行い（教育・研修活動タイプと組み合わせ環境教育、間伐体験を実施）、地域内外の住民への炭焼き体験も実施する。

### 5. 構成員の概要

**※構成員の居住地（どのような地域から参加しているか）、職種、経歴、所属団体等、構成員の多様性がわかるように記載すること。**

〇〇の森保全の会は、主に〇〇市〇〇地区の住民が集まった組織であり、構成員 40 名のうち 35 名が同地区の住民である。その他の構成員は〇〇市内他地区が 4 名、県外 1 名となっている。本活動組織は地域の住民を核に作られた組織であるため職種は林業、自営業、事務等様々である。所属団体については、森林関係の NPO に所属している者が 10 名、環境保全に関する市民団体 8 名などからなる。

6. 年度別スケジュール

取組概要	〇〇年度		〇〇年度		〇〇年度	
1. 活動推進費	林況調査及び活動についての詳細な打合せ					
2. 実践活動	内容	面積等	内容	面積等	内容	面積等
A-1 地域環境保全タイプ (里山林保全)	間伐、雑草木の刈払い、集積、処理	3 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3 ha	雑草木の刈払い等保全管理	3 ha
A-2 地域環境保全タイプ (侵入竹除去、竹林整備)	侵入竹の除去、チップパー処理	0.5 ha	侵入竹の除去、チップパー処理	0.5 ha	侵入竹の除去、チップパー処理	0.5 ha
B 森林資源利用タイプ		ha	炭焼き・薪原木の伐採	1.0 ha	炭焼き・薪原木の伐採	1.0 ha
C 森林機能強化タイプ	作業道の作設・補修	170 m		m		m
		ha	森林資源利用タイプの活動	1.0 ha	森林資源利用タイプの活動	1.0 ha
2-1. 間伐等(除伐・枝打ちを含む)実施面積	ha	ha	ha	ha		ha
2-2. 活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる里山林を整備する面積	ha	ha	ha	ha		ha
D 関係人口創出・維持タイプ						
3. 資機材・施設の整備等	チェーンソー2台		薪割機1台			

※1 延長には森林調査・見回りを除く。

※2 2のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※3 2-2については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合はその里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。

※4 2のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7. 活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法(地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載) **モニタリング調査についてのガイドラインを参考にしてください**

タイプ名	目標	モニタリング方法
地域環境保全タイプ (里山林保全)	〇〇な状態にしたい	円形調査区において木の本数を調査する
地域環境保全タイプ (侵入竹・竹林整備)	侵入竹を除去したい	方形調査区において竹の本数を調査する

森林資源利用タイプ	薪等の継続的な生産を目指す	森林から搬出・利用される資源の量 (m <sup>3</sup> ) を調査する
-----------	---------------	------------------------------------------------

(注) 目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。

#### 8. 年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

年度	講習の名称	講習の内容
○ 年度	安全講習	安全装備、作業についての講習
○ 年度	安全講習 機械の取扱講習	安全装備、作業についての講習 チェーンソー等の取扱講習
○ 年度	安全講習 森林施業技術講習	安全装備、作業についての講習 間伐や搬出方法等の講習

(注) 安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

#### 9. 安全のために装備する物品及び傷害保険の名称

ヘルメット、防護服（チェーンソー取扱者）

加入する傷害保険：●●保険株式会社の森林ボランティア保険

#### 10. 4年目以降の活動（森林管理）計画

4年目以降も○○の森の保全管理を継続して実施。また、近隣の都市住民からも幅広く維持活動に協力していただける活動を継続し、地域の里山を維持・発展させる予定。

#### 11. 計画図（協定の対象としている区域の図面）

取組の実施箇所の森林計画図を添付すること。森林計画図がない場合は、対象森林の面積が分かる縮尺5,000分の1以上の図面を添付すること。添付した図面に、計画期間中の各タイプの活動内容及び森林経営計画の策定の有無を図示すること。また、森林機能強化タイプにおいては、改修等を実施する路網や鳥獣被害防止柵を図示すること。

**取組の実施箇所の森林簿及び森林計画図を添付（縮尺5,000分の1以上の図面も用いて、タイプ別活動エリアが明記されているもの）。森林簿、森林計画図がない場合は、対象区域がわかる図面を使う。**

#### 12. 持続性向上に向けた取組

※ 活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

○本会会員の伐採、保育技術の向上に努める

○本会で商品化を行い近郊の道の駅で販売して収入につなげる

○本会は本計画終了後も継続して計画地内の森林整備に努める

#### 13. その他

(1) 写真

取組の実施箇所に長期にわたり手入れをしていなかったと考えられる里山林がある場合はその写真を添付すること。

(2) 収入

会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入を記載すること。

構成員から毎月●円の会費の徴収を規約に定めている。また林産物収入により年間収入●円程度。

(3) 委託

取組を委託する場合は、次を記載すること。

活動計画における取組についての委託			
	○年度	○年度	○年度
委託機関名	○○森林組合（予定）		
連絡先 （電話番号等）	○○○○-○○-○○○○		
委託時期	○年○月		
委託内容 （委託する区域 の林小班、委託 業務の内容（面 積、作業の内容） 等）	○○市△△○番地（○ha） 太い木や急峻な地の刈払い や間伐など、活動組織メン バーでは難しい作業を一部 委託。（予定）		
委託金額	○○○○円		

※ 活動を作業委託する場合は、活動組織としての活動を活動計画の中で必ず明記すること。活動全てを委託することはできない。

計画書変更について

※活動計画書を変更（改訂）した場合、下記に変更内容、変更理由を記入すること  
（変更内容）

（変更理由）

**※計画書の最終ページに計画図を添付してください**

